



佐久の札所

第18番札所 熊野宮 (松源寺)

南佐久郡小海町小海本村979



松源寺は南佐久郡小海町本村、相木川右岸の台地上にあり、東光山海岸院松源寺と称し天台宗比叡山延暦寺の末寺で、阿弥陀如来を本尊とする。

宝徳元年(室町時代1449年)僧亮元が古屋敷に創建した寺である。

その後、永禄5年(安土桃山時代1562年)に古屋敷から相木川右岸、熊野権現宮の門前字宮下に移転した。

幾度となく、火災と水害をうけたものの、明治維新となりようやく、水害のおそれのない高台の東光山へ移転した。

昭和53年(1978年)11月宝燈継承第47世光順は、檀信徒の協力を得て、本堂、開山堂庫裡、山門、参道等の大修復、増改築を実行し、近在まれに見る整備された寺となる。

もくじ

支部長あいさつ	2
建築課長あいさつ	3
中間報告	4～5
委員会活動について	6～8
賛助会員の紹介	9
ウッドクラフト	10～11
御代田フットパス	12～13

新年のご挨拶

公益社団法人 長野県建築士会佐久支部 支部長
高橋 三七人



新年明けましておめでとうございます。昨年5月の協議会で支部長になり、支部長として無事新年を迎えることができました。昨年は至らない私を支えて頂きました皆様のご尽力とご支援に心より感謝申し上げます。新型コロナも5類に移行され、さまざまな活動が戻りつつあります。佐久支部の活動も活発に行うことができました、改めて皆様のご支援とご協力に重ねて御礼申し上げます。

現在、長野県建築士会は課題が山積しています、本会でも様々な検討をしているところです、会員減少や財政の問題が大きく、築40数年たった会館の耐震補強など維持管理の問題、また人件費の関係から本会事務局、各支部の事務局をどうするか等、今まで通りの方法では活動が縮小していく可能性が高いと思われます。

本会では今年度から支部長会が発足しています、14支部の現状等の意見交換をしながら情報共有し、支部長会の様々な意見を本会理事会に上げていくこととしています。

また、東信ブロックでは臼田副会長のもと昨年理事会を行い、3支部での情報共有や意見交換を行うため、次年度から「東信ブロック役員会」を行っていくことが決まりました。役員の皆様にはお忙しい中ご負担をお掛け致しますが、いろいろなご意見を頂き、東信ブロックの意見として本会へ上げていきます、何卒よろしく願い申し上げます。

佐久支部としても皆様のご意見をお聞きし東信ブロックへ上げていきます。また、委員会活動等についても内容や方法等を検討していきたいと考えています。

現在佐久支部、本会ともに会員減少になかなか歯止

めがかかりません、そして建築士会の平均年齢は年々上がっています。そのため支部内の会員、賛助会員の交流を今まで以上に活発化しなければと考えています、会員の減少はやむを得ない部分もありますが、若い会員が増えないのが最大の問題であると思います。青年女性委員会では数年後活動が出来なくなるのではと危機感を持っています。建築士になった方々が建築士会に入らなければと思えるよう、建築士会の地位向上を図る必要があると思います。その為にも皆様のご協力を頂いて、支部・本会で意見交換や交流を活発化し新たな建築士会にしていく必要があると思います。重ねて会員、賛助会員の皆様のご支援ご協力をお願い致します。

今年は先に述べたような様々な課題や2025年の法改正等、ここ数年取り巻く環境は難しい時代に入ってきています、これらに対応するための重要な一年になると思います。長野県のご協力も頂き講習会等を行いながら会員の皆様と情報共有することで対応していきます。

今年の佐久支部は、会員の知識技能のスキルの向上、地域社会との連携を計り、災害対応を含め、地域の発展と環境に配慮した建築に貢献していくことを目指してまいります。皆様のご協力とご支援を心よりお願い申し上げます。

新年が皆様にとって健康で幸福な年でありますよう心より願っております。

本年も皆様とともに、素晴らしい一年にしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶 ～「品格あるまち」の姿を考える～

長野県佐久建設事務所 建築課長
三好 由美子



向春のみぎり、謹んでご挨拶申し上げます。
長野県建築士会佐久支部会員の皆様には、日頃から長野県の建築・住宅行政に多大なる御協力と御理解を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、変わらぬご支援をお願い申し上げます。
さて、昨年9月1日は、関東大震災から100年の節目にあたりました。マスコミでも様々な報道がされ、内閣府でも特設ホームページが作られました。

私が気になったのは、国土交通省主催のシンポジウムに登壇した名古屋大学の武村雅之特任教授¹⁾の基調講演です。2023年9月5日付け「新建新聞」で概要を読み、考えました。——「品格のあるまち」って、どんなまち？そこで、武村教授の近著「関東大震災がつくった東京——首都直下地震へどう備えるか」²⁾を拝読しました。

関東大震災の震源や震度、被害の状況について記載されているのは、第1章です。第2章から第4章は、地震学というよりも、寺社の移転や、道路や橋の建設経緯など、東京における江戸時代から帝都復興事業³⁾完了までのまちづくり史に焦点が当てられています。第5章では、第二次世界大戦後の東京で、「なぜ地盤沈下や木造住宅密集地域が発生し、安全でないまちになってしまったのか」について述べられています。

武村教授が定義した「品格のあるまち」とは、「特定の個人や会社が利益を得るのではなく、公共性と市民の合意形成がなされたまち」のことではないかと思えます。逆に、オリンピックのような「イベント便乗型開発」、つまり、国家的なイベントを理由に財源を確保して道路や建築物を整備していく手法は、公共性よりも土地の有効活用と経済効果の方が優先されるため、「品格のないまち」につながっていくでしょう。

「イベント便乗型開発」の例に挙げられている日本橋直上の高速道路とタワーマンションを、過日、所用

で上京した折に見てきました（下図）。「日本橋上空に青空を」プロジェクトの完成は、2040年とか（私、見ることができるかな?）。また、大規模災害時に電気や水道などが寸断しても、埋立地の“島”に建っているタワーマンションで居住を続けられるでしょうか？

もともと、経済優先の開発は、東京だけの話ではありません。地方都市も、孫の代にも享受できる公共性には配慮していないけれど、利便性と効率を優先した都市の方が、“発展”しているように見えがちです。

建築に携わる者として、「品格あるまち」の姿を考え、自分の仕事を見つめなおす良い機会となりました。

なお、「関東大震災がつくった東京」は、2023年11月17日時点で長野市と松本市の図書館が所蔵しています。お近くの図書館経由で取り寄せていただくか、ア

●ゾンでなく、書店でお買い求めください（推奨）。
末筆になりますが、長野県建築士会佐久支部の益々の御発展と、会員各位の御健勝と更なる御活躍を祈念申し上げます。会報「ちくま」第70号発刊と新年の御挨拶といたします。

- 1) 専門は、地震学、地震工学（「関東大震災がつくった東京」の著者略歴による）
- 2) 中公選書（中央公論新社）、1,800円+税
- 3) 関東大震災後に後藤新平が策定した帝都復興計画に基づく事業



令和5年度事業中間報告

月 日	行 事 名	場 所
4.5	第4回三役会	佐久市民創錬センター
4.17	第5回三役会及び第4回幹事会	佐久平交流センター
5.9	第10回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
5.11	新旧三役会	かつ栄
5.15	県三役会	長野県建築士会館
5.16	第5回青年女性委員会	Zoomミーティング
5.18	県三役会及び理事会	Zoomミーティング他
5.19	建築士ミーティング 旧大沢小学校の魅力	旧大沢小学校
5.24	第13回協議会	佐久グランドホテル
5.24	第1回幹事会	佐久グランドホテル
5.27	県第73回通常総会	THE SAIHOKUKAN HOTEL
6.7	第1回三役会	かつ栄
6.14	第2回三役会及び第2回幹事会	佐久平交流センター
6.15	空き家相談会	佐久合同庁舎
6.17	関ブロ青年協新潟大会	新潟県
6.20	建築指導員パトロール	小諸地区
6.21	建築指導員パトロール	佐久地区・南佐久地区
6.21	第1回情報広報委員会	ひろ喜
6.22	建築指導員パトロール	御代田軽井沢地区
6.22	県三役会	長野県建築士会館
6.30	県三役会及び理事会	長野県建築士会館
7.5	第1回総務企画委員会	Zoomミーティング
7.8	第2回情報広報委員会	大龍寺他
7.11	第1回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
7.13	東信ブロックゴルフコンパ	小諸高原ゴルフクラブ
7.14	空き家相談会	佐久合同庁舎
7.15	佐久木造住宅耐震推進協議会	かつ栄
7.26	第3回情報広報委員会	Google Meet
7.29	第4回情報広報委員会	Google Meet
8.7	第5回情報広報委員会	山水

月 日	行 事 名	場 所
8.15	空き家相談会	佐久合同庁舎
8.22	第2回地域貢献委員会	佐久市民創練センター
8.24	県三役会	長野県建築士会館
9.1	県三役会及び理事会	Zoomミーティング他
9.8～9	関プロまちづくり交流会in佐久	佐久穂町他
9.11	第2回総務企画委員会	Zoomミーティング
9.13	第3回三役会及び第3回幹事会	佐久平交流センター
9.15	空き家相談会	佐久合同庁舎
9.22	三団体親睦ゴルフコンペ	立科ゴルフ倶楽部
9.26	第3回地域貢献委員会	佐久市民創練センター
9.28	第1回教育事業委員会	かつ栄
9.28	第1回青年女性委員会	柏屋旅館
10.7	第6回情報広報委員会	山水
10.13	空き家相談会	佐久合同庁舎
10.17	建築指導パトロール	小諸地区
10.18	建築指導パトロール	佐久地区・南佐久地区
10.19	建築指導パトロール	御代田軽井沢地区
10.20	県ゴルフ大会	ウィーゴカントリー倶楽部
10.22	子どもと作ろう！ウッドクラフト	イオン佐久平店
10.27	第65回全国建築士会全国大会「しずおか大会」	静岡県
10.31	第4回地域貢献委員会	佐久市民創練センター
11.1	第3回総務企画委員会	Zoomミーティング
11.10	第7回情報広報委員会	山水
11.13	地域づくりネットワーク 長野県協議会佐久支部研修交流会	信州そばガキ隊道場
11.15	空き家相談会	佐久合同庁舎
11.17	ウッドクラフト反省会	さらさ
11.22	県三役会	長野県建築士会館
11.24	佐久地域景観協議会	佐久合同庁舎
11.27	第2回教育事業委員会	Zoomミーティング
11.28	第5回地域貢献委員会	佐久市民創練センター

令和5年度

総務企画委員会活動報告

総務企画委員長 上原 啓二

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。

令和5年度の総務企画委員会の活動について報告いたします。

親睦ゴルフコンペの関係ですが、7/13の東信ブロックゴルフコンペは佐久支部が担当し、25名の参加がありました。三団体ゴルフコンペは、事務所協会が担当で9/22に開催され、25名の参加がありました。また、県ゴルフコンペは埴科支部が担当で10/20に開催され、58名の参加、佐久からは9名が参加し開催されました。関係者、参加者の皆様お疲れ様でした。

令和5・6年度版「会員の手引」は皆様のお手元に届いているかと思えます。会員名簿の他、建築士会の定款や規約、組織図等も掲載されています。個人情報の取り扱いに注意し、会員同士の連絡等に利用していただけたいと思えます。

緊急災害時連絡網は市町村及び関係者に配布が完了しました。災害時に県・市町村との協定に基づいた被災建築物応急危険度判定を実施する際に重要な連絡網ですので、実情に合わせた更新を行っています。

佐久支部が会員になっている地域づくりネットワーク長野県協議会佐久支部の研修交流会に支部長と参加してきました。研修内容は蕎麦打ち体験でしたが、慣れない事に四苦八苦しながらもなんとか完成させることができ、美味しくいただきました。

新年講演会は2018平昌五輪に出場したカーリング選手の山口剛史氏に「カーリング ミラノ五輪に向かったの挑戦」という演題で講演していただきます。カーリングの魅力はもちろんのこと、一流アスリートの考え方や、メンタル等が学べる機会になるかと思えますので、皆様の業務等の参考になり、また、新しい知識を得る機会になれば幸いです。

令和5年度も残りわずかですが、引き続き、支部長をはじめ副支部長、副委員長、委員の皆様と協力しながら委員会活動を行なっていきたいと思えます。

令和5年度

新年挨拶

地域まちづくり委員長 新津 輝秋

令和6年の元日に起きた能登半島地震で被災された皆様にこの場を借りてお見舞い申し上げます。震源から遠く離れた佐久の地で、地震の際は佐久穂町の実家に帰省し両親や兄弟家族と穏やかな年始を迎えていた私たちにとっても、親族中のスマートフォンから突然鳴り響く緊急地震速報のサイレンといつまでもゆっくりとした周期で続く揺れに、幸い実害はなかったものの非常に不安な思いをしました。

地震による大規模な災害が起こるたびに私達建築に携わる人間は、自分が携わった建物やこれから携わるであろう建物の耐震性や防火性能、災害に対する安全性について考えさせられ又、それら建物が立地する街や地域全体が災害に対して果たして安全であるか考えさせられます。

これら災害に対する安全性の確保はもちろんのこと、温室効果ガス削減のための建物の省エネ性能の向上といった課題につきましても、2025年4月から施行される建築基準法や省エネ法の改正においても4号建物の廃止や原則すべての建築物において省エネ基準の適合が義務付けられるなど、私達の実務においてより明確に法的に「見える」状態での対応が求められております。

一例として、南佐久地域に多く存在する都市計画区域外において、木造2階建て一戸建て住宅の新築について確認申請が必要となることについて、行政や建築主にも十分理解してもらう必要があると考えます。地域まちづくり委員会が設立された経緯として、行政とのパイプ役という役割もあったと聞いております。高橋支部長のご意見を伺いながら委員会の在り方、役割についても考えていきたいと感じた年始となりました。本年もよろしくお祈り申し上げます。

令和5年度

令和5年度の委員会活動について

地域貢献委員長 小泉 正樹

地域貢献委員会では例年通り10月に「ウッドクラフト」を行い、本年度は「長野県省エネ改修サポート」との同時開催で行いました。新型コロナウイルス感染症が5類に変更になったことで前年度に比べネット他での事前申込み状況も好調で時間帯によっては当日枠まで埋まる盛況振りでした。当日キャンセルも数組ありましたが、ご参加頂いた方々のご協力により時間内に無事予定数量を終了する事が出来ました。

本来この「ウッドクラフト」の目的のひとつは「建築士会」の一般の方々への周知にあります。しかし参加されているご家族の嬉しそうな表情を見ているとお手伝い頂いている皆さんもつい忘れがちになり、一緒に制作に夢中になってしまうのです。今年は新たな会員の方々にもご参加頂き賑やかな開催でした。今後も続けていく予定ですので未だ経験されていない方々にも是非こんな気持ちを共有して頂ければと思います。

「ウッドクラフト」後の年度後半はもう一つの委員会活動「防災マップ」の整備を現在進めています。市町村によっては新たな防災マップ制作から7年近くが経過しており、老朽化から既に解体された建物や新たに設置された避難施設も在るため随時見直しを行っています。以前より計画していた同マップのUSBメモリでの配布もこの会報が配布される頃には連絡網責任者の方々のお手元に届いているかと思えます。そのような事は無いに越した事はありませんが万一有事の際にはご活用頂ければと思います。



佐久穂町防災マップファイリング作業完了

令和5年度

辰年、新年

情報広報委員長 両川 正

穏やかな初春のお慶びを謹んで申し上げます。

本年は辰年で、登る勢いが強い運氣と思えます。

皆様におかれましては今年一年、上がり調子でお過ごしできるとお察し申し上げます。

新年でもありますので、干支のお話しをさせて下さい。

十二支は、中国で紀元前500年を遡り起源があるので、それが歴史を経て日本に伝わって来た説が有力です。そして、中国を含め東南アジア諸国は、昔からの「太陽太陰暦」の時間軸で生活をしています。その暦は、月と太陽の2つの星を観測して構成されるハイブリットな暦です。その「正月」は、年の初めの新月の日を指します。まさに正月です。付け加えると、「一日（ついたち）」の語源は「月立ち」であるそうです。太陽太陰暦の名残が、現代、使われている言葉にも残っております。

日本では、明治の文明開化より、グレゴリオ暦を採用しており、ここで2者の暦の正月は、1か月前までの開きが出てきます。注目する点として、干支は2,500年前からある太陽太陰暦が基軸で、明治に始まった、グレゴリオ暦の時間軸ではないという事が特筆すべき点です。現在では当たり前の様に、正月の除夜の鐘を聞いた後に、TVで「明けましておめでとうございませう。辰年の始まりです。」という光景をモニター越しに目にしますが、厳密には間違いです。辰年が始まるのは、太陽太陰暦の正月が起点です。

そこより掘り下げると、陰陽五行説の占いを採用するときは注意が必要です。因みに今年の辰年が始まる「正月」は、グレゴリオ暦の2月10日で、この日から辰年の始まりです。その2者の暦のずれの間が些か問題で、年初めのその間に誕生した人は、自身の干支を間違っている場合があります。知人は70年近くも自分の干支を間違えていて、新聞の占い欄で別な干支で、人生の大半を一喜一憂していたと失笑しておりました。

さて本年も、委員会では、会報ちくまとホームページを進めていきたいと思えます。原稿執筆を頂いた方々には旧年中の御礼と、始まった新年にお願いばかりですが、本年も宜しく申し上げます。

皆様には、簡単でございませうが、幸多き一年を祈願しまして、挨拶とさせていただきます。

//// //// //// //// //// 令和5年度

曳家についてのセミナー及び旧小諸本陣見学会

教育事業委員長 小林 千恵 //// //// //// ////

12月2日に小諸市の脇本陣の宿・糸屋さんにて曳家についてのセミナー及び旧小諸本陣の見学会を行いました。

セミナー前には、脇本陣の宿・糸屋さんの設計者である甘利享一さんに解説をしていただきながら糸屋さんを見学させていただきました。

曳家についてのセミナーの講師は有限会社三光組代表取締役社長 須田泰仁さんをお願い致しました。曳家には何種類か工法があり、移動させる建物の構造や重さによって異なる工法を使うとのことでした。簡単に紹介をさせていただきたいと思います。

①姿曳移動工法…土台の下の基礎に穴を開け、そこに鋼材・角材を通し、その鋼材で建物の荷重を受けて移動する工法です。木造住宅等土台がしっかりしている建物の移動に適しています。

②腰付移動工法…土台より上に鋼材もしくは角材を通し、それと柱をワイヤーや金物で結び建物の荷重を柱から直接受けて移動させる工法です。神社・仏閣等土台がない建物や土台が痛んでいる建物の移動に適しています。

③基礎共移動工法…基礎ごと建物を移動する工法です。壁で建物の荷重を支えるツーバイフォー構造や荷重の大きい重量鉄骨造、RC造等の建物の移動に適しています。

また、災害等により建物が沈下してしまった場合などにも沈下修正工事のさまざまな工法があるそうです。



旧小諸本陣

旧小諸本陣の見学については北野建設株式会社 岡田利浩さんにご協力を頂き、解説をしていただきながら現場を見学させていただきました。火災にあった痕跡やとても長い一本物の梁などがあり非常に歴史ある建物でした。いったん取り外された木材や建具も見学させていただき、ふすま紙に使用されていた古い資料など非常に貴重なものを見せていただきました。曳家工事については残念ながら日程が合わず、実際に旧小諸本陣を曳く様子や揚家をする様子を見学することは出来ませんでした。youtubeの小諸市公式チャンネルにはその様子がアップされております。興味がある方は是非ご覧ください。

(動画名：タイムラプス動画！文化財が動く!!旧小諸本陣保存修理工事 曳家工事2022.9.21、9.26)

最後になりましたがセミナー及び見学会にご参加いただきました皆様、またご協力いただきました皆様にごこの場をお借り致しまして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



賛助会員の紹介

株式会社 不動

公益社団法人長野県建築士会佐久支部の皆様には、日頃から大変お世話になっております。

紙面をお借りして、大変感謝申し上げます。

会報「ちくま」も70号とお聴きし、長く発行していることに敬服いたします。

弊社は、平成元年に設立してから35年の年月を迎えております。

設立当初は浄化槽工事を中心に、建築士の皆様のご指導の下、事業活動をして参りました。

歴史が物語りますよう、浄化槽の維持管理件数は2,900件弱あります。



駐車場緑化施工例

当時、図面はドラフターでの手描きでしたが、今はパソコンでの図面です。

携帯電話もそうですが、時代が大きく変わりました。

下水道も大きな変化がありました。

生活水準向上の為、公共下水道の完備、農業集落排水、コミュニティプラント等々です。

浄化槽も補助金申請を含め、大きく変化しました。

長野県の汚水処理人口普及率は、98.3%で全国7位です。

弊社の宣伝も少しさせていただきます。

排水処理を中心に、土木・建築設備にも携わっております。

東京支店では、緑化事業・ソリューション事業を中心に営業しております。



弊社東京支店屋上緑化施工例

ソリューション事業部は、病院・データセンター等の建物総合管理です。

ソリューション事業部は、大きな柱になろうとしております。

この頃、建設新聞を読んでおりましたら、県立高校の設計が東京の設計事務所主体でした。何となくですが、違和感を感じました。

佐久市立の各小中学校も立派な設計と施工でよく仕上がっています。

最後になりましたが、長野県建築士会佐久支部の皆様の日頃の活動に敬意を表しますと共に、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



弊社東京支店屋上緑化施工例

ウッドクラフト

白田 裕太

ウッドクラフトに参加して

我が子にとっては初めての木工体験でしたが、木のもつ温かみを感じながら、工具の扱いも学べるよい機会となりました。完成した椅子も丁度いいサイズで自宅でも使用しています。何事も経験が大切だと思っているので、このような活動は今後も継続して、多くの子供たちが体験できるといいと思います。



ウッドクラフトの感想

建築インテリア科 2年 **松藤 紗花**

「2年連続でボランティアに参加して」

今回のウッドクラフトでは去年のボランティア経験を生かし、建築士会の皆様に教えていただき、交流などを通して子供たちの椅子や花台作りをお手伝いしました。1年前ということもあり、作り方を忘れてしまっていた部分もありましたが、コツをつかむと去年よりも丁寧に子供たちのサポートができました。ビス打ちや釘打ちも安定してできるようになり、自身の成長が感じられるボランティアとなりました。また、今回は缶バッジ作りもお手伝いをしました。子どもたちが楽しく作れるように一緒に楽しむことで、制作時間をより楽しいものにできました。

建築士会の多くの方々と交流を図り、建築士の資格を取った動機や経験をお聞きすることができ、非常に豊かな時間を過ごすことができました。私たちの学校の先輩方もボランティアに参加しており、椅子や花台作りをサポートしていただき非常に助かりました。私自身も頼れる先輩になっていかなければならないと思いました。2回のボランティアを通してとても良い経験となりました。ありがとうございました。

建築インテリア科 2年 **竹野入 大誠**

「2年連続でボランティアに参加して」

先日は、昨年に引き続きウッドクラフトのボランティアに参加させていただきまして、誠にありがとうございました。

2年連続で参加させていただいて、より作ることの楽しさを感じる事が出来ました。ボランティア中、あるご家族から、「この設計図の完成形とは違って、絵本の中に出てくる椅子を作ることはできないか」とのご要望がありました。先輩方と協力しながら、設計図とは違うかわいらしいイスを無事完成させることができました。お渡しした際に、ご要望を頂いたお子さんとお母様の満足そうな笑顔を見て、とても嬉しく思いました。自分の作った作品が形に残り、それを見て喜んでくれる方々がいるということに、モノづくりと、建築の楽しさを実感しました。

このイベントのように、いろんな道具を使ってモノづくりをする機会はなかなかないと思います。子供の頃からこのような貴重な体験ができることが、ボランティアをやりながら見ていて、とても羨ましく思いました。それと同時に、モノづくりを楽しいと思えてもらえたらなと思いました。本当にありがとうございました。



御代田フットパスの紹介

青年女性委員会 山田 まどか

御代田フットパスに有志が集まって、各ルートの現状を確認し、今後のアイデアを話し合う機会をもちました。今回、私はマップ編集を担当したデザイナーさんと「ルートC・湯川散策と浅間の眺め」を歩きました。お互い頭では良く分かっているはずなのですが、久しぶりに通してコースを歩いてみると、歩くスピードでの景色の変化、ガラス越しでない風や音の感触、そして車では入れない小道の変化に富んだ風景に、「うわー、やっぱり、、、ここ歩くと楽しいですね!」と、素直に楽しめました。どこへでも仮想現実で行ける今だからこそ、紙の地図を頼りに実際に行ってみる面白さ、があります。代替わりされた区長さんからも、こうしてこの場所に訪れてくれるのが嬉しい、という言葉いただきましたので、ペンキの落ちた案内標識を手入れしつつ、ほそぼそと維持して行きたいです。

佐久市安原在住 栗山 星子

「ルートB・歩いて感じる地形と歴史」を歩きました。フットパスというものに全然詳しくない素人ですが、なるほどこれがフットパスか!と目から鱗の体験でした。コースとして決められていなければ進むのを躊躇うような細い道・私有地っぽい場所・藪の中…をずんずん行く。おかげで人家や電線やアスファルトなど人工物の何も見えない場所をしばらく歩いて気持ちがいいし、水辺から高台、鬱蒼とした林の中など景観の変化にも富み、祠や神社や旧道など歴史に思いを馳せられるスポットも。一緒に歩いた子供ら(5歳・8歳)も、すごい冒険だった!と大満足でした。来るものを拒まず、飾ることなく、自然な形で地域に寄り添わせてくれる、これがフットパスかあ。また歩きたいです。



Miyota Footpath
御代田フットパス

湯川コース

- Route A 太古のロマンと故郷の水辺 (湯川地区)
- Route B 歩いて感じる地形と歴史 (湯川地区)
- Route C 湯川散策と浅間の眺め (湯川地区)

フットパスのマナー

- ※毎月1日の休業・通行・空席・プライベートに配慮しましょう。
- ※服装はマップに記述の服装準拠へ。
- ※道から外れて畑や民家の私有地に立ち入りしないでください。
- ※農薬に当たる。農薬が上り下りできない場所には注意。
- ※山頂付近、ハイキングや登山などの活動、活動は各自で行ってください。
- ※加齢や身体状況に応じて歩きましょう。
- ※このコースは、風景を維持管理されている地元の方々への感謝の気持ちを忘れずに歩きましょう。

御代田フットパスの楽しみ方

- ※各コースごとに案内図が用意されています。地元の方から見てフットパスの地図などをお手にとってご利用ください。
- ※Webサイト: <https://miyotafootpath.jp/miyota.com>
- ※マップの地図について、徒歩やマウンテンバイクでの移動や地形図と照合して歩いています。合わせてご活用ください。マップの更新は随時更新されます。

御代田町農林・園芸地区へのアクセス

【お車の場合】
1. 国道19号 佐久市駅より約10分
2. 国道19号 佐久市駅より約10分
3. 国道19号 佐久市駅より約10分

【徒歩の場合】
1. 佐久市駅より徒歩約10分
2. 佐久市駅より徒歩約10分
3. 佐久市駅より徒歩約10分

【お問い合わせ】
0120-40-6000 (1~3) 佐久市農林園芸地区 農林園芸課

情報広報委員会 飯田 智

秋の晴れた空の下、歩くために10数名が集まりました。

以前コース作りから始まった「御代田フットパス」。久しぶりの参加となりました。

今回私が歩いたのは、3コースあるうちの「コースA・太古のロマンと故郷の水辺」でした。豊昇地区の世代間交流センターで発起人山田まどかさん、豊昇区長さんのお話を聞きいよいよスタートです。

森の良い香り。草を踏みつける音。目から飛び込むきれいな景色。天気が良かったこともあり、すごく爽快に歩けた気がします。最初は車道を歩きましたが、車の少ない通りに入ると、川の水音・木々の風になびく音・鳥の声・色々な音が場所ごとに音色を変えて耳に飛び込んできます。

台地の上につくと、地元の方に畑の脇に落ちた土器を拾い上げてもらいました。地元では小さい時に課外学習で拾いに来るのだそう。ひらけた大地の上は穏やかな風が吹いていました。空にはきれいな声で鳴く鳶。

自然の中を歩くことで、忙しさの中に置き忘れた五感を取り戻せた気がしました。

皆さん、御代田フットパス オススメですよ!!





①本堂



②本堂



③参道



④本堂



⑤鐘楼

本堂の設計は、鬼籍に入られた佐久支部の井出敏章氏の手によるもので、それにあたって、法隆寺の聖霊院の現場調査まで行われ設計が起こされた。また、特筆すべき点は、木造建物の柱脚に鉄骨でラーメン構造が生まれ、時間経過による建物の傾きを修正できる構造になっている。



⑥観音堂



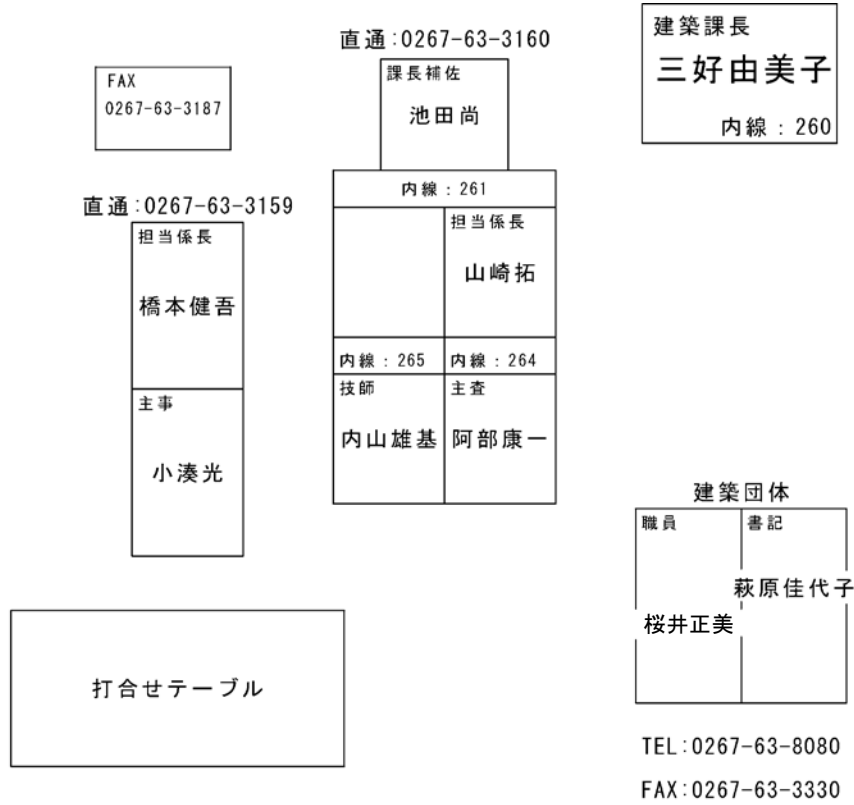
⑧如意輪観世音



⑦開山堂



佐久建設事務所 建築課 配置図



***** ●編集後記● *****

昨年11月末、近現代建造物の緊急重点調査に参加しました。

東信地区にも戦後著名な建築家による建造物が建築されてきたことがわかりました。

今回は旧軽井沢の愛宕とよばれる狭隘な道筋に佇む山荘が対象でした。

小春日和の午後、事前調査のあと以前から気になっていた愛宕神社を参拝することにしました。山荘のエ

リアはいつしか途切れ、思いのほか急傾斜の落ち葉に埋まった参道を登っていくと突然ささやかな社が出現し、また、横に並んで石造の古峰神社があることに気が付きました。周囲を見渡すと遠くに県境の山並み、振り返ると足元から間近に石の源から天に伸びる木々が生えていることに気付きました。身近な場所にこのような杜の神社があるという安らぎと悠久の自然とのつながりを感じる心地良い時間でした。調べてみると「オルガンロック」と呼ばれていて場所自体にエネルギーがあって現在でも毎年、神事が営まれている大切な空間であり、超絶的な自然との邂逅の場ともなっていることがわかりました。

新しい年が喜びと希望にあふれた一年でありますように。 K. S

会報『ちくま』第70号 2024/2
 発行者：(公社) 長野県建築士会 佐久支部
 情報広報委員会
 事務局：〒385-8533 佐久市跡部65-1
 佐久建設事務所内
 TEL 0267-63-8080
 FAX 0267-63-3330
 E-mail: ken8080@seagreen.ocn.ne.jp
 支部HP http://www.aba-saku.com/
 印刷：ヨダ印刷サービス株式会社
 TEL 0267-22-3330